

平成22年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A 法人章：佐藤の“サ”又はB 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>

B 法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

～ 今、ふたたび「仁」 ～

古き歴史と日新の科学を踏まえて

順天堂は学祖佐藤泰然が、天保9（1838）年、江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾に端を発し、今に連がる日本最古の西洋医学塾であります。

江戸時代後期、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総佐倉（千葉県）に移った順天堂に、諸国諸藩より蘭医学者が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き西洋医学研究・教育・そして臨床医学実践の場としての華が開いたのであります。

順天堂第二代堂主佐藤尚中は、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、大学東校（東京大学医学部の前身）の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府（東京帝大医学部）の礎を固めました。一方、泰然の門下生で実子の良順は幕府御典医、松本家の養嗣子となり、徳川家茂・慶喜、篤姫などの主治医となります。長崎留学中には蘭医ポンペに学び、協力して小島養生所（日本初の西洋式病院）を作りその頭取となりました。これが長崎大学医学部の発祥となります。松本良順は西洋医学所頭取として幕府軍医の責任者となりますが、維新後には初代軍医総監となり軍医制度を整備します。また民間公衆衛生の啓蒙を行うほか、牛肉、牛乳等の滋養食を奨励、海水浴、大気浴などの健康効果を提唱し、予防医学、スポーツ医学の普及にも努めました。

第三代堂主となる佐藤進は、明治新政府発行の旅券第一号をもってベルリン大学医学部に留学し、アジアで最初の欧米医学校の正式の卒業生となり、ドイツ流医学教育普及のリーダーとなりました。佐藤進は、日清・日露両戦役の軍医総監となり、国難に対峙し、清国李鴻章より「国手」の称号を送られました。

順天堂は爾来、心技ともに優秀な医師・医学者を輩出し、最新の医学、医療看護学、そして心身を鍛えるスポーツ健康科学の道を切り拓きつつ、国際的な健康総合大学・大学院大学へと発展してきました。

現在に至るまで順天堂の伝統とする理念は、「不断前進」であります。この理念は、自由な競争環境にこそ活気ある教育研究活動が展開されるという建学の精神を伝承し、全くと言ってよいほどに学閥がなく、優秀な人材であれば出身校を問わず任用するという学風が確立されております。

順天堂に集う者すべてが、この学風を理解、享受し、自己研鑽と競争原理と相互信頼のもとに順天堂人としての連帯感が涵養され、高い倫理観に基づく教育研究が実践されています。

これらの根本にあるのが、学是「仁」であります。「人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち『仁』」。本学の校章は、「仁」を意匠化したもので、順天堂に集う者すべてが目指す学是であります。

学校法人 順天堂
理事長 小川 秀興

1. 法人の設置する学校

【順天堂大学】

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科 博士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科 修士課程	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. （財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. （財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. （学）順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育学専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29. 10. 順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校に名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	552 床	静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	653 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山 560 番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
順天堂練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合計		3,199 床	

※病床数は平成23年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長・所長	文部科学省私立大学高度化推進事業名	開設年月日(初代センター長)	所在地
研究基盤センター	富野康日己	—	平成 15. 10. 1 (木南 英紀)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
疾患モデル研究センター	富野康日己	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
老人性疾患病態・治療研究センター	水野 美邦	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 12. 3. 21 (水野 美邦)	〃
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 14. 9. 19 (小川 秀興)	千葉県浦安市富岡 2丁目1番1号
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 17. 10. 1 (小川 秀興)	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 19. 4. 24 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
臨床研究センター	富野康日己	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	〃
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	〃

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

【順天堂大学】

(単位：名)

研究科・学部・学科名称	修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3								
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
大学院	医学研究科	4年	100	120	340	447	120 (100)	116 (80)	107 (80)	104 (80)	-	-	
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	66	122	140	66 (61)	74 (61)	-	-	-	
		博士後期課程	3年	10	10	18	23	10 (10)	6 (4)	7 (4)	-	-	
	医療看護学研究科	2年	15	17	25	32	17 (15)	15 (10)	-	-	-		
大学院 計			186	213	505	642	213 (186)	211 (155)	114 (84)	104 (80)	-	-	
学部	医学部 医学科	6年	119	107	589	600	107 (119)	117 (110)	87 (90)	97 (90)	93 (90)	99 (90)	
	スポーツ健康科学部			330	335	1,320	1,327	331 (330)	330 (330)	335 (330)	331 (330)	-	-
		スポーツ科学科	4年	190	195	760	763	193 (190)	190 (190)	192 (190)	188 (190)	-	-
		スポーツマネジメント学科	4年	70	70	280	277	69 (70)	69 (70)	69 (70)	70 (70)	-	-
		健康学科	4年	70	70	280	287	69 (70)	71 (70)	74 (70)	73 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科	4年	200	200	800	799	197 (200)	214 (200)	196 (200)	192 (200)	-	-	
	保健看護学部 看護学科	4年	120	126	120	126	126 (120)	-	-	-	-	-	
学部 計			769	768	2,829	2,852	761 (769)	661 (640)	618 (620)	620 (620)	93 (90)	99 (90)	

※1. 入学者欄は平成 22 年 4 月に入学した学生数

※2. 在籍者欄は平成 23 年 3 月 31 日における学生数

※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	木南 英紀	順天堂大学学長
	富野 康日己	順天堂大学医学部長、大学院医学研究科長
	野川 春夫	順天堂大学スポーツ健康科学部長
	岡田 隆夫	順天堂大学医療看護学部長
	新井 一	順天堂大学医学部附属順天堂医院長
	前田 稔	順天堂大学医学部附属静岡病院長
	高森 建二	順天堂大学医学部附属浦安病院長
	梁井 皎	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	宮野 武	順天堂大学医学部附属練馬病院長
	佐藤 信紘	順天堂大学特任教授、名誉教授
	稲富 恵子	順天堂大学保健看護学部長
監事	多田 宏	非常勤
	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

<選任条項順に記載>

新井 一	代田 浩之	稲田 英一	形本 静夫	金子 今朝秋
荒賀 直子	青木 きよ子	細谷 芳三	照沼 則子	高森 建二
石館 敬三	森 近 浩	中澤 真逸	林 淑子	佐藤 潔
伊藤 政男	小川 秀興	木南 英紀	富野 康日己	野川 春夫
岡田 隆夫	梁井 皎	多田 宏	佐藤 信紘	稲富 恵子
前田 稔	宮野 武	水野 美邦	津田 裕士	山本 勉
奥村 康	河盛 隆造	澤木 啓祐		

(計 33名)

7. 学部一覧・概要

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	博士 (医学)	富野 康日己
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	形本 静夫
	医療看護学研究科	修士 (看護学)	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	富野 康日己
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	野川 春夫
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	中島 宣行
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	北村 薫
	健康学科	学士 (健康学)	島内 憲夫
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡田 隆夫
	保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	稲富 恵子

8. 教職員数

(1) 教員数

(平成 23 年 3 月 31 日現在)
(括弧内は平成 23 年 5 月 1 日時点)
(単位：名)

学長
1

①学部本務教員

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計(A)
全体	163	110	252	32	414	284	1,255	2,330	3,585
(内訳)									
医学部	119	82	236	17	388	280	1,122	2,136	3,258
スポーツ健康科学部	24	21	5	0	6	4	60	127	187
医療看護学部	12	6	10	14	18	0	60	47	107
保健看護学部	8	1	1	1	2	0	13	20	33
全体	(154)	(113)	(251)	(33)	(370)	(324)	(1,245)	(2,349)	(3,594)
(内訳)									
医学部	(113)	(83)	(233)	(16)	(339)	(317)	(1,101)	(2,153)	(3,254)
スポーツ健康科学部	(21)	(23)	(5)	(1)	(7)	(7)	(64)	(124)	(188)
医療看護学部	(10)	(5)	(10)	(12)	(20)	(0)	(57)	(48)	(105)
保健看護学部	(10)	(2)	(3)	(4)	(4)	(0)	(23)	(24)	(47)

※上記、学部本務教員の内、大学院を併任する教員数

教授	准教授	講師	助教	計(B)	教員(本務・併任)合計(A+D)
134	311	6	2	453	3,638
(128)	(309)	(7)	(5)	(449)	(3,686)

②大学院本務教員

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計(C)
全体	3	8	33	1	22	1	68	96	164
(内訳)									
医学研究科	3	8	33	1	22	1	68	66	134
スポーツ健康科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	12	12
医療看護学研究科	0	0	0	0	0	0	0	18	18
全体	(3)	(9)	(35)	(3)	(58)	(1)	(109)	(101)	(210)
(内訳)									
医学研究科	(3)	(9)	(34)	(2)	(58)	(1)	(107)	(64)	(171)
スポーツ健康科学研究科	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)	(11)
医療看護学研究科	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)	(26)	(28)

※上記、大学院本務教員の内、学部を併任する教員数

教授	准教授	講師	助教	計(D)	教員(本務・併任)合計(B+C)
2	36	—	15	53	617
(2)	(38)	(2)	(50)	(92)	(659)

(2) 職員数

事務職	看護職	技師・医療職	教務職	その他	計	教職員合計
494	3,039	730	43	218	4,524	8,274

<ご参考：平成 21・22 年度臨床研修医合計受入数(括弧内は平成 22 年度数)>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	順天堂練馬病院	計
126	37	63	44	270
(64)	(17)	(33)	(21)	(135)

9. 公的研究費補助金

(1) 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
新 学 術 領 域 研 究	2	5,000	
特 定 領 域 研 究 (公 募 研 究)	2	6,500	
基 盤 研 究 (A)	4	41,700	
基 盤 研 究 (B)	17	59,300	
基 盤 研 究 (C) (一 般)	114	113,500	
挑 戦 的 萌 芽 研 究	10	11,900	
若 手 研 究 (A)	1	5,500	
若 手 研 究 (B)	69	91,200	
特 別 研 究 員 奨 励 費	4	3,900	
研 究 成 果 公 開 促 進 費	1	2,500	
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	5	5,200	
平 成 2 2 年 度 直 接 経 費 計	229	346,200	
平 成 2 2 年 度 間 接 経 費 計	※212	96,420	※件数は内数
合 計	229	442,620	

(2) 文部科学省：大学改革推進等補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
がんプロフェッショナル養成プラン	1	84,696	
大学病院における医師等の勤務環境改善のための人員の雇用	1	37,500	
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム	1	19,100	
大 学 教 育 ・ 学 生 支 援 推 進 事 業	1	10,444	
合 計	4	151,740	

(3) 文部科学省：最先端研究開発戦略的強化費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム	1	2,145	

(4) (独) 日本学術振興会：先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
アレルギー疾患関連分子の発現制御機構とアレルギー治療・予防への応用	1	※156,000	※決定額は4年間合計額

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	(株)ヤクルト本社	特任教授 山城雄一郎
先端放射線治療 ・医学物理学講座	エレクトラ(株)	医学部 放射線医学講座 前任准教授 唐澤久美子
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学部 代謝内分泌学講座 教授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学部 病院管理学研究室 教授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬(株) (株)アンチエイジングサイエンス	特任教授 奥村 康 客員教授 白澤 卓二
イーライリリー 「膝再生医学講座」	日本イーライリリー(株)	医学部 代謝内分泌学講座 教授 綿田 裕孝
認知症診断・予防 ・治療学講座	※寄付者非公開	医学部 神経学講座 教授 服部 信孝
小児医療・調査研究講座 (東京都)	東京都	医学部 小児科学講座 教授 清水 俊明

※責任者等の職制は、平成 23 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度 合計	入学試験 検定料	
大学院	医学研究科	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000	
	スポーツ健康 科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
	医療看護学 研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
学部	医学部	1 年次	2,000,000	1,000,000	400,000	-	200,000	3,600,000	※2 参照
		2 年次以降	-	2,000,000	860,000	-	600,000	3,460,000	-
	スポーツ健康 科学部	150,000	800,000	390,000	-	200,000	1,540,000	※2 参照	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000 ※3	-	1,850,000	※2 参照	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※2 参照	

※1 入学時のみ

※2 試験形態毎の入学検定料

医学部	①一般、②地域枠、③センター・一般独自併用	: 各 60,000 円	センター利用	: 40,000 円
スポーツ健康科学部	①特別選抜、②推薦、③一般(1 学科)	: 各 35,000 円	一般(2 学科併願)	: 50,000 円
	一般(3 学科併願)	: 65,000 円	センター利用	: 20,000 円

医療看護学部・保健看護学部

①推薦、②一般、③センター利用、④センター・独自併用 : 各 30,000 円 併願(センター利用/一般) : 50,000 円
(保健看護学部のみ) 推薦併願(静岡県内高校/一般) : 50,000 円

※3 4 年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途 350,000 円を加算する。

12. 平成 22 年度 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位:名、%)

区 分	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	80	80	80	80	
〃 入学者数	103	81	93	109	
博士(医学)甲 学位記授与数	98	71	83	100	平成 22 年度 累計 《1,213》
(上記内、標準修業年限から超過した学位取得者数)	(2)	(0)	(1)	(2)	
博士号の標準修業年限内での学位授与率	98.0	100.0	98.8	98.0	
満期退学後学位取得者数	0	0	1	0	
博士(医学)乙 学位記授与数	77	42	19	38	《2,164》

大学院スポーツ健康科学研究科

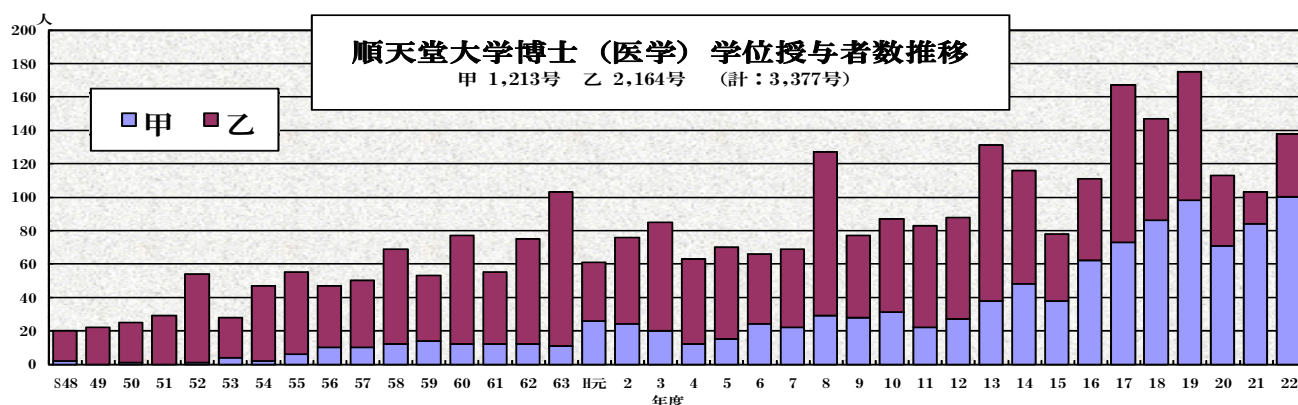
(単位:名、%)

区 分	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	4	4	4	4	
〃 入学者数(〃)	6	7	3	7	
博士(スポーツ健康科学)甲 学位記授与数	1	3	0	2	《17》
(上記内、標準年限から超過した学位取得者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	
博士号の標準修業年限内での学位授与率	100.0	100.0	-	100.0	
満期退学後学位取得者数	0	0	1	2	
博士(スポーツ健康科学)乙 学位記授与数	1	1	0	1	《3》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数(〃)	64	58	59	63	
修士(スポーツ健康科学)学位記授与数	57	50	43	61	《662》
修士号の標準修業年限内での学位授与率	98.2	94.0	90.7	88.5	

大学院医療看護学研究科

(単位:名、%)

区 分	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	-	10	10	10	
〃 入学者数		18	16	15	
修士(看護学)学位記授与数		16	18	15	《49》
修士号の標準修業年限内での学位授与率		100.0	88.9	100.0	



- ◎ 平成19~22年度学位取得者 甲論文(英文82.7%) 平均IF ≒ 3.202 乙論文(英文65.9%) 平均IF ≒ 2.572
- ◎ トムソン・ロイター (2005-2009年) 論文引用度指数 国公立大学の内 第6位 (京都大学と同順位)
- ◎ Scopus (2006-2010年) 1論文当たり被引用数 " 第2位

13. 平成 22 年度 学部卒業生数

(単位：名)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	備考《累計》
医学部医学科	医学	92 (27)	93 (39)	92 (29)	98 (29)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《4,265》 累計《4,673》
スポーツ健康科学部		308 (94)	323 (122)	327 (111)	321 (112)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《4,662》 累計《9,869》
スポーツ科学科	スポーツ科学	162 (33)	179 (55)	187 (55)	184 (55)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	69 (27)	72 (34)	68 (26)	68 (28)	
健康学科	健康学	77 (34)	72 (33)	72 (30)	69 (29)	
医療看護学部 看護学科	看護学	98 (98)	103 (100)	204 (194)	192 (180)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《 597》 累計 《5,385》

※()内は女子学生数

14. 卒業後の進路状況

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学研究科	大学・研究機関	82名	100名	
		医療機関	10名		
		民間企業	5名		
		その他	3名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	2名	2名
			教員・研究機関	18名	
		博士前期課程	民間企業	31名	61名
			進学	10名	
			その他	2名	
	医療看護学研究科	大学病院等医療機関	9名	15名	
教員・研究機関		4名			
その他		2名			
学部	医学部	初期臨床研修医 (本学医学部附属病院群)	62名	98名	
		〃 (他大学医学部附属病院群)	5名		
		〃 (大学病院以外の臨床研修指定病院群)	24名		
		初期臨床研修未開始者 (国家試験不合格等)	7名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	92名	321名	
		民間企業	158名		
		進学	44名		
		その他	27名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	166名	192名	
		本学以外の医療機関	23名		
進学		3名			

15. 国際交流活動

【 大学協力協定締結状況 】



【 海外留学生等国別受入れ状況 】

中国	75人	フランス	2人
インドネシア	17人	ベトナム	2人
韓国	11人	オーストラリア	1人
台湾	7人	グアテマラ	1人
タイ	4人	グルジア	1人
イラン	2人	バラグアイ	1人
エストニア	2人	ハンガリー	1人
ネパール	2人	ラオス	1人

合計 16カ国 130人(※)

※博士研究員、
リサーチアシスタント、
協力研究員、
研究支援者を含む。

【 国際交流活動 】

順天堂大学は教育面、研究面及び交流面において積極的な国際交流活動を行っております。

教育



平成 22 年 8 月
熱帯医学研究会
夏期東南アジア研修



平成 22 年 8 月
留学生交流パーティ

研究



平成 22 年 11 月
ハワイ PBL 研修



平成 22 年 11 月
アジア太平洋メディカルフォーラム

交流



平成 22 年 11 月
タイ国保健省代表団表敬訪問



平成 23 年 2 月
ブータン王国王女殿下表敬訪問

16. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

【法人・大学】

22. 5. 22	第 322 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
7. 3	第 26 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座 「認知症の原因には何があるのか？－認知症の心配な貴方へ－」
9. 9	第 323 回順天堂医学会学術集会「ストレスと疾患」
25	市民公開シンポジウム「今、ふたたび仁！」－古き歴史と日新の科学を踏まえて、次世代（新しい）の医学・医療を考える－
11. 27	第 1 回アジア太平洋メディカルフォーラム 学術講演「糖尿病の病態と膵β細胞不全」 パネル・ディスカッション「現在、日常診療で抱えている問題・課題は？」
23. 2. 19	第 27 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座 「食品（サプリメント）の効用と有害事象」
3. 29	第 324 回順天堂医学会学術集会 3 教授定年退職記念講演会

【大学院医学研究科】

22. 6. 5	第 5 回がん治療センター・がん生涯教育センター市民公開講座 「高度がん治療を目指して」
11. 26	第 1 回がん生涯教育センター連携大学院合同シンポジウム 「薬剤師による薬物治療への貢献と展望：薬学生へのメッセージ」
12. 7	第 5 回がん生涯教育センター国際シンポジウム「Environmental Carcinogenesis」
18	第 6 回がん治療センター・がん生涯教育センター市民公開講座 「高度がん治療を目指して」
23. 2. 14	第 2 回がん生涯教育センター国際がん看護学講演会 「上級実践者役割の探究」、「上級看護実践力の開発をめざして」
26	がん患者と医療のパートナーシップを考えるワークショップ 第2回患者と医療の架け橋「どうして連携しなくちゃいけないの」

【大学院スポーツ健康科学研究科】

22. 9. 12	第 7 回スポーツ健康科学部国際シンポジウム 「中国、韓国における体育・スポーツ系大学のオリンピックへの取り組みに学ぶ」
-----------	---

[順天堂医院]

22. 7. 3	JMN臨床研究会「糖尿病の病態と治療目標」、「実践！すぐに役立つ栄養指導」、「経口糖尿病薬の使い方：SU薬を使う前に」、「これなら簡単今すぐ出来る外来インスリン導入」
10. 3	第9回順天堂大学乳腺科市民公開講座 「もっと乳房（むね）の病気を知ってもらうために」
16	JMN臨床研究会「カプセル内視鏡について」、「肺疾患と画像診断」、「PET-CTの基礎と臨床」、「最新のCT・MRIについて」

23. 2. 19	JMN臨床研究会「脳血管障害診療の新展開」、「パーキンソン病の治療 Up-To-Date」、「うつ病の診断と治療アップデート」、「アルツハイマー病は発症前診断と根治的治療へー基礎研究が花開くときー」
-----------	---

[静岡病院]

22. 5. 26	市民公開講座「肺がんの診断と治療の現況」
6. 24	第15回東部周産期研究会 演題1「Real-timePCR法による妊婦のGBSスクリーニング」 演題2「MRIにより早期診断した新生児脳梗塞の1例」
7. 3	静岡メディカルフォーラム2010 第1部「うつ病をもっとよく知ろう」 第2部「自分の体は自分で治す」
9. 16	第15回静岡県東部ドクターヘリ事後検証会
18	市民公開講座 in 三島「ここまで進歩した！がんを診て治す！放射線」
11. 17	市民公開講座「脳腫瘍の診断と治療」
12. 2	第16回東部周産期研究会 演題1「胎児心拍モニター」 演題2「過去10年間の当院NICUにおける敗血症43例の臨床的検討」
23. 1. 22	平成22年度静岡県東部地区救命救急医学研修会
2. 1	市民公開講座「花粉症の外科治療」
3	医療連携フォーラム2011 ①『LOH症候群』について ②『乳癌治療の最前線』 ③静岡病院医療連携の現況報告
3. 10	第16回静岡県東部ドクターヘリ事後検証会

[浦安病院]

22. 4. 17	第32回市民公開講座「肝ガンを撲滅させるために？」
5. 22	第33回市民公開講座「高血圧は、ほっとけない！」
6. 26	第34回市民公開講座「子宮頸がん」
7. 17	第35回市民公開講座「知っておこう、乳がんから自分を守るために！」
9. 25	第36回市民公開講座「パーキンソン病」
10. 23	第37回市民公開講座「さよなら膝の痛み」
11. 6	第38回市民公開講座「冬の感染症対策」
12. 18	第39回市民公開講座「知っておこう！形成外科・美容外科の最前線」
23. 1. 15	第40回市民公開講座 「血液の病気の移植って何だろう？～血液疾患の造血幹細胞移植について～」
2. 26	第41回市民公開講座「関節リウマチの話」

[順天堂越谷病院]

22. 4. 9	神経内科主催 パーキンソン病教室（第5回） 「パーキンソン病に負けないリハビリテーション」
17	（財）順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会（第42回） 「就労者のメンタルヘルス」

22. 6. 11	神経内科主催 パーキンソン病教室（第5回講演会（4.9開催）の追加開催） 「パーキンソン病に負けないリハビリテーション」
6. 29	医療連携講演会開催（第2回） 「関節リウマチの治療の薬物療法（生物学的製剤）とその注意点について」
7. 24	（財）順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会（第43回） 「統合失調症を理解しようー職場の仲間や家族のためにー」
11. 27	（財）順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会（第44回） 「思春期のひきこもりについて」

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

22. 4. 24	第1回区民健康講座 「認知症とうつの話～最近もの忘れや気分の落ち込みは気になりませんか？～」
5. 22	第2回区民健康講座「あなたの腎臓、大丈夫？～慢性腎臓病（CKD）について～」
6. 19	第3回区民健康講座「内視鏡、レントゲン検査で異常なし？こんなに多い、 ストレス社会の現代病「機能性胃腸症」
28	第22回センター講演会「消化管疾患における病態と治療～最近の話題～」
7. 17	第4回区民健康講座 「関節リウマチとリハビリ～関節の痛みやこわばりに対するリハビリ～」
9. 18	第5回区民健康講座「めまいの診断と治療～めまいを起こす耳の病気～」
10. 23	第6回区民健康講座「高齢者に多い眼の病気」
11. 20	第7回区民健康講座「ぜん息～病気の新しい考え方と治療～」
29	第23回センター講演会「めまい診療のポイント」
12. 25	第8回区民健康講座「高齢者に起こりやすい手や腕の痛み、しびれについて」

【順天堂練馬病院】

22. 4. 24	区民健康医学講座「“ペインクリニック”ってなあ～に？足腰の痛みの治療を中心に」
5. 20	医療連携フォーラム「皮膚・アレルギー科の病理・入院患者統計について」、 「乾癬治療 2010～生物学的製剤の参入と今後の展開は？～」
22	区民健康医学講座「放射線治療について」
6. 26	区民健康医学講座「骨粗しょう症について」
7. 15	医療連携フォーラム 「NSAID 潰瘍と出血」、「癌治療における病理の役割ー化学療法と病理診断ー」、 「非小細胞肺癌の治療ー手術と補助化学療法ー」
24	区民健康医学講座 「こんな時どうする？子どもの救急～楽しい夏休みをおくるために～」
9. 16	医療連携フォーラム 「医療費と介護保険について」、「プライマリケアにおいて精神症状に遭遇したら」、 「最新の腹腔鏡下手術の実際ーSILS:単孔式腹腔鏡下手術ー」
25	区民健康医学講座「おしっこの悩み」
10. 23	区民健康医学講座「子宮頸がんとその予防ワクチンについて」

22. 11. 18	医療連携フォーラム 「血小板減少に対する対応について」、「鼻疾患・鼻科手術の up-to-date」、 「ASO（下肢閉塞性動脈硬化症）を早期発見し、患者の命を救え！」
27	区民健康医学講座「緩和ケアってなに？ーがん治療と緩和ケアー」
12. 18	区民健康医学講座「介護保険の知識と介護技術」
23. 1. 20	医療連携フォーラム「関節が痛いと訴える患者さんの診察方法や鑑別病態は？」、 「最近の乳癌治療のトレンド」、「加齢性黄斑変性症」
22	練馬区教育委員会との共催区民講座「禁煙って本当に必要？」
2. 17	医療連携フォーラム「大腸癌化学療法の展開」
26	練馬区教育委員会との共催区民講座「血圧、気にしていますか？」

[さくらキャンパス]

22. 5. 14	順天堂バレーボール教室 (5月から翌年1月までの毎週火曜日開催、(但し夏期休暇期間、年末年始を除く))
27	運動指導講座「スマイルヘルシー教室」 (5月から11月までの毎週木曜日開催、(但し夏期休暇期間を除く))
6. 1	順天堂大学公開講座(体育施設管理士養成講習会、～4日)
4	第63回啓心寮祭(～6日)
8. 30	瞬足陸上教室(アキレス共催)
9. 4	ヘルスプロモーション講座
10. 6	順天堂大学公開講座(体育施設管理士養成講習会、～8日)
11. 14	生涯学習公開講座「コーディネーショントレーニング」
21	生涯学習公開講座「ダンス」
28	生涯学習公開講座「陸上」
12. 5	生涯学習公開講座「サッカー」
23. 2. 14	順天堂大学公開講座(体育施設管理士養成講習会、～17日)
20	第5回ヘルスプロモーション国際シンポジウム in さくら 「健康格差社会への提案 ～幸せな未来の創造をめざして～」

[浦安キャンパス]

22. 10. 22	第21回順華祭(～23日)
11. 27	第19回順天堂大学医療看護学部公開講座 「こころの健康を守るには～職場、学校、家庭におけるこころの問題と対応法～」

[三島キャンパス]

22. 11. 20	第1回順咲祭(～21日)
23. 3. 13	第1回順天堂大学保健看護学部公開講座 「中・高年期を楽しく元気に過ごすための生活スタイルを見直してみませんか」

17. 当期事業の主な概要及び施設設備の整備状況

【法人・大学】

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

- ・平成 22 年度、再編事業の一環として、サテライト施設、文京区立旧元町小学校校舎の整備を行い、5 号館機能の移転を完了しました。
- ・教学部門のセンチュリータワーへの整備・移転、新規取得したサテライト施設の利用計画についての整備方針の検討を進めています。

市民公開シンポジウム

平成 22 年 9 月 25 日（土）、市民公開シンポジウム「今、ふたたび仁！ - 古き歴史と日新の科学を踏まえて、次世代（新しい）の医学・医療を考える-」を開催し、鈴木寛文部科学省副大臣及び北城恪太郎学校法人国際基督教大学理事長による講演を行いました。

国際スポーツロジ学会

世界初の学際的な「国際スポーツロジ学会」を本学から発足させ、平成 23 年 3 月 5 日、第 28 回日本医学会総会のサテライトシンポジウムとして、第 1 回国際スポーツロジ学会学術講演会を開催しました。

東日本大震災における対応

3 月 11 日震災直後より、被災地に医療支援隊の派遣、患者の治療、搬送等、本学の附属 6 病院全体で積極的に対応しております。東北・東日本を支えるべく、特に難病、重症、手術、高度専門医療を要する方々については診療・入院を受け入れ、また後方支援を積極的に行っております。医薬品・医療材料等の被災地への支援も力いっぱい続けていきます。（詳細後述）

【本郷キャンパス（大学院医学研究科・医学部）】

医学部の入学定員増への対応

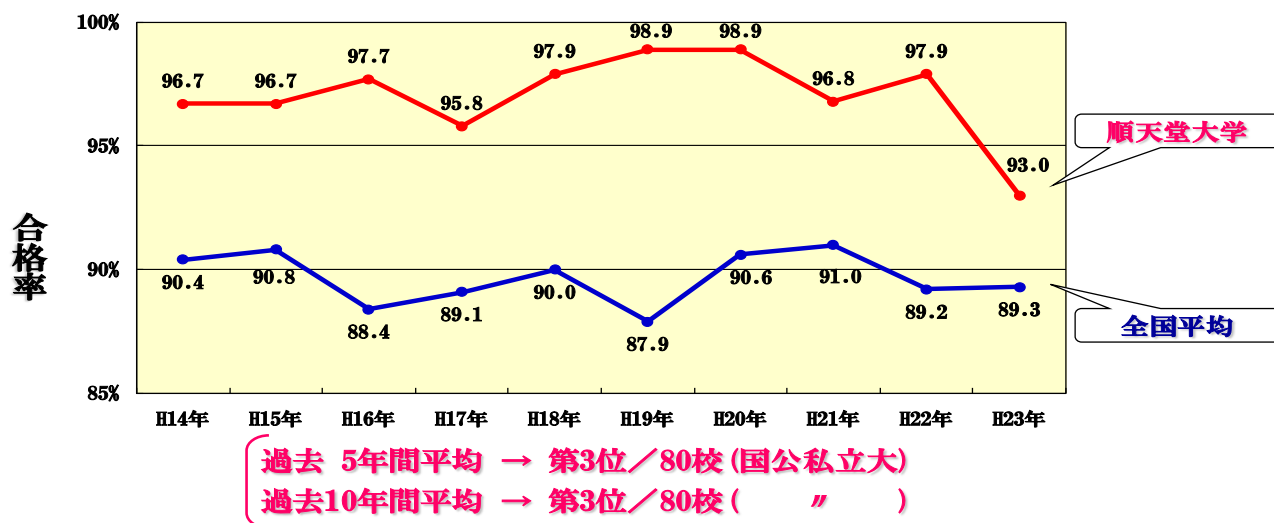
平成 22 年 6 月 18 日の閣議決定「新成長戦略」及び平成 22 年 9 月 29 日の厚生労働省公表「病院等における必要医師数実態調査」を踏まえ、本学では、優れた教育研究資源を活かし、学部・大学院一貫教育「(基礎) 医学研究者養成プラン」を設置し、文部科学省より研究医養成枠 1 名追加の認可を受けました。これにより、平成 23 年度より医学部入学定員が 119 名から 120 名に増員となりました。

教育研究施設・設備の充実、文部科学省採択事業

- ・平成 22 年度文部科学省科学研究費採択状況について、本学は 4 年制 521 私立大学中 11 位となりました。今後も医学部をコアとしながら全学部が協力連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費の申請・採択に努めます。
- ・「先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）」に『アレルギー疾患関連分子の発現制御機構とアレルギー治療・予防への応用』（研究者：西山千春、期間：4 年間、配分額：156,000,000 円）が採択されました。
- ・「最先端研究開発戦略的強化費補助金（頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム）」に『パーキンソン病におけるミトコンドリア fission/fusion の関与について』が採択されました。（補助事業期間：平成 22 年度～平成 24 年度）
- ・PBL (Problem Based Learning) ・シミュレーション教育装置（医学部・大学院医学研究科）、ヒューマンカロリーメーターチャンバーシステム（スポーツ健康医科学研究所）、超

解像レーザー顕微鏡システム（環境医学研究所）等、教育・研究装置の拡充を行いました。

医師国家試験合格率推移



国際交流の拡大・強化

- ・ゼメルバイス大学（ハンガリー）、韓国体育大学、漢陽大学（韓国）、スラナリー工科大学医学部、マヒドン大学（タイ）及びシャリテ医科大学（ドイツ）との大学協力協定を締結しました。
- ・国際交流協定校との学術的交流としまして、8月にタイ・チュラロンコン大学等での熱帯医学研究会研修、10月にドイツ・シャリテ医科大学と World Health Summit でのジョイント・シンポジウム、11月にハワイ大学での PBL 研修等を行いました。

【さくらキャンパス】

- ・文部科学省「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）」に『スポーツ系大学生の社会的実践能力を育むキャリア支援』が採択されました。「学生能力開発支援室」を開設し、幅広い職業観を形成できるように支援しています。
- ・文部科学省委託事業「チーム『ニッポン』マルチサポート事業」に参加するため、幹事校の筑波大学と共同研究契約を締結しました。本事業はロンドン及びソチオリンピックでのメダル獲得のために、トップレベル競技者への戦略的・包括的支援を目的とするものです。
- ・運動部関係にて、陸上競技部が第79回日本学生陸上競技対校選手権大会で2年連続27回目の男子総合優勝、バレーボール部が第63回秩父宮賜杯全日本大学男子選手権で28年ぶり2回目の優勝を達成しました。
- ・就職状況について、教職では、新卒31名、過年度生を含めると113名の合格者を輩出しました。また就職希望者については約98%が内定を獲得しました。

【浦安キャンパス】

- ・2名の専門看護師（慢性看護）が誕生しました。
- ・国家試験が看護師99.5%、保健師94.6%、助産師100%と高い合格率となりました。

【三島キャンパス】

- ・平成22年4月、静岡県三島市に静岡県東部地区における唯一の4年制看護系学部として

本学第4番目の学部となる「順天堂大学保健看護学部」が開設されました。

- ・三島キャンパス見学会や大学祭、公開講座等を積極的に開催し、保護者の方や、他大学の学生、高校生、地域の方々にキャンパスを理解頂く取組みを行いました。

【順天堂医院】

- ・平成20年4月、東京都より「東京都認定がん診療病院」の指定を受け、平成22年4月1日付にて、厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」の新規指定を受けました。今後更なるがん診療体制の充実に取り組んでいきます。
- ・各診療科外来受付や初診受付、外来カルテ室等、マンパワーが必要な部署と専門性が必要な部署における業務委託の見直しを行い、待ち時間の短縮と業務の効率化を図りました。

【静岡病院】

- ・静岡県医療施設耐震化臨時特例事業費補助金に採択され、D棟・E棟の耐震化工事に着手しました。
- ・国及び静岡県より周産期母子医療施設設備整備事業補助金の交付を受け新生児救急車を更新しました。
- ・保健看護学部学生による臨床教育実習が始まりました。
- ・手術件数増加に伴い、局所麻酔にて実施する手術に対応する手術室を増設し、既存手術室の運用効率化も併せて行いました。

【浦安病院】

- ・平成22年4月1日付にて千葉県より「地域周産期母子医療センター」の指定を受けたことに伴い、本館3A及び3B病棟を改修して、周産期母子医療センター機能としてのNICU 6床、GCU 12床、MFICU 3床他関連施設の整備を実施しました。
- ・外来診療機能充実を目的として本館1階にある脳神経外科外来を改修して、脳神経外科、呼吸器外科、形成外科・美容外科の外来ブースを設置して効率的な外来診療スペースを確保しました。
- ・病院近隣施設として今川橋ビルA棟及びB棟を取得し、病院施設の補助施設として会議室や倉庫その他有効利用を行っています。

【順天堂越谷病院】

精神科電気痙攣療法を開始しました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

- ・外来に感染症患者専用の診察室を設置しました。
- ・診療設備充実のためカプセル内視鏡画像診断システムを新設するとともに、電子内視鏡システム、自動採血管準備システム、滅菌装置、マルチカラーレーザー光凝固装置を更新し、診療設備の充実を図りました。

【順天堂練馬病院】

- ・平成22年4月1日付にて東京都より「東京都認定がん診療病院」の指定を受け、病院機能を強化しました。
- ・東京都より「感染症診療医療機関設備整備費補助金」を受け、回診用X線撮影装置等の診療設備の拡充を図りました。

18. 東日本大震災に対する順天堂医療支援活動について

順天堂よりのメッセージ

東日本大震災において被災された方々に対して衷心より、お悔み、お見舞いを申し上げます。被災された地域の日も早い復興をお祈りいたしております。

順天堂6附属病院の被災地救援活動

3月11日震災直後より、被災地に医療支援隊の派遣、患者の治療、搬送等、本学の附属6病院全体で積極的に対応しております。東北・東日本を支えるべく、特に難病、重症、手術、高度専門医療を要する方々については診療・入院を受け入れ、また後方支援を積極的に行っております。医師・看護師などの各被災地域への派遣、医薬品・医療材料等の被災地への支援も力一杯、続けていきます。

下記の大学及び地域に救援隊を送っています。



The map shows the following locations with callouts:

- 福島県立医科大学附属病院共同支援 (福島市)
- 藤沢町
- 宮古市
- 大船渡市
- 陸前高田市
- 気仙沼市
- 登米市
- 岩沼市
- 南三陸町
- 郡山市
- いわき市
- 福島空港
- 北茨城市
- 水戸市
- つくば市

Accompanying photos show:

- Medical staff at Fukushima Prefectural University Hospital.
- A group of people in a room, likely receiving care.
- A group of people standing in front of a building, possibly a relief center.
- People in red vests standing next to a car at Fukushima Airport.

【順天堂医院】**総合診療科 (3/17～23)**

岩手県磐井郡藤沢町民病院での医療支援及び気仙沼方面の医療視察などを行いました。

産科・婦人科 (3/19～4/11)

岩手県立宮古病院、宮城県気仙沼市立病院での周産期医療支援などを行いました。

循環器内科 (3/25～3/31)

福島県立医科大学（福島市）と共同で福島県北地区の避難生活者に対する薬剤処方、静脈血栓症のスクリーニングと診察、医療機関への転送などを行いました。

乳腺科 (3/26～27)

いわき市鹿島病院（いわき市）、福島県立医科大学附属病院（福島市）、あずま総合運動公園（福島市）、ビッグパレット福島（郡山市）などの現状の視察、物資の搬送及び医療支援などを行いました。

小児科・思春期科 (3/26～4/19)

宮城県気仙沼市内の病院及び避難所における医療救護活動などを行いました。

【静岡病院】**DMAT 派遣 (3/11～3/14)**

被災地内における診療不可能な病院から被災地外へ転院患者搬送などを行いました。（水戸協同病院（水戸市）、筑波メディカルセンター（つくば市）、北茨城市立総合病院（北茨城市）、福島県立医科大学附属病院（福島市））

【浦安病院】**DMAT 派遣 (3/11～13)**

被災地内における診療不可能な病院から被災地外へ転院患者搬送を行いました。

（福島空港等での広域搬送活動）

被災地医療救護班派遣 (3/25～4/25)

千葉県と連携し、南三陸町の救護所、登米市内病院などでの医療活動支援、診療支援を行いました。

【練馬病院】**医療チーム派遣 (3/23～4/3)**

宮城県災害対策本部と連携した被災地支援医療活動を行いました。

（岩沼市二木の避難所、岩沼市体育館、岩沼市民会館、岩沼ビックアリーナなど）

※ 3月11日から3月31日迄の間に活動を開始した事例を掲載しました。

その後も順天堂医学部附属 6 病院である順天堂医院（東京都文京区）、静岡病院（静岡県伊豆の国市）、浦安病院（千葉県浦安市）、順天堂東京江東高齢者医療センター（東京都江東区）、順天堂越谷病院（埼玉県越谷市）及び順天堂練馬病院（東京都練馬区）では、引き続き東日本各地、特に福島県、岩手県を中心に全国国公立大学 80 校中トップクラスの医師、看護師及び技師等による医療支援・救援隊を送り続けています。（詳細はホームページをご参照下さい。）

19. 平成 22 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお、金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	6,488	6,491	△ 3
手 数 料 収 入	343	433	△ 90
寄 付 金 収 入	1,417	1,691	△ 274
補 助 金 収 入	5,363	5,703	△ 340
資 産 運 用 収 入	427	500	△ 73
資 産 売 却 収 入	22	30	△ 8
事 業 収 入	1,900	2,070	△ 170
医 療 収 入	111,342	113,085	△ 1,743
雑 収 入	903	1,157	△ 254
借 入 金 等 収 入	2,090	2,460	△ 370
前 受 金 収 入	1,564	1,596	△ 32
そ の 他 の 収 入	18,559	18,646	△ 87
資 金 調 整 勘 定	△ 19,179	△ 19,831	651
当年度資金収入合計	131,238	134,032	△ 2,794
前年度繰越支払資金	25,518	25,518	
収入の部合計	156,756	159,550	△ 2,794

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 28 億円上回りました。主な要因としては、附属病院の医療収入全体で予算を約 17 億円上回ったことによります。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	47,976	47,596	380
教育研究経費支出	17,442	16,561	881
医療経費支出	40,119	40,322	△ 203
管理経費支出	4,281	3,830	451
借入金等利息支出	31	29	2
借入金等返済支出	2,636	2,636	0
施設関係支出	2,533	2,083	450
設備関係支出	4,468	2,843	1,625
資産運用支出	800	3,297	△ 2,497
そ の 他 の 支 出	8,579	8,503	76
予 備 費	2,835	0	2,835
資金支出調整勘定	△ 7,896	△ 7,601	△ 295
当年度資金支出合計	123,804	120,098	3,706
次年度繰越支払資金	32,952	39,452	△ 6,500
支出の部合計	156,756	159,550	△ 2,794

資金支出は予算と比較し約 37 億円下回りました。主な要因としては、予算計上していた機器備品の購入、工事などについて、見直しや次期に繰り延べたことなどによります。

資金収入が予算と比較し約 28 億円上回り、資金支出が約 37 億円下回ったことから、当年度資金収支差額は差引約 65 億円予算を上回りました。これにより次年度繰越支払資金は約 395 億円となりました。

当年度資金収支差額	7,434	13,934	△ 6,500
-----------	-------	--------	---------

(2) 消費収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	H22 年度決算	H21 年度決算	差 異
学生納付金	6,491	6,301	190
手数料	433	328	105
寄付金	1,755	1,738	17
補助金	5,703	7,283	△ 1,580
資産運用収入	500	687	△ 187
事業収入	2,070	2,213	△ 143
医療収入	113,085	107,256	5,829
雑収入	1,164	1,018	146
その他	0	4	△ 4
帰属収入合計	131,201	126,828	4,373
基本金組入額合計	△ 5,190	△ 7,150	1,960
消費収入の部合計	126,011	119,678	6,333

帰属収入は約 1,312 億円となりました。学生納付金は保健看護学部開設に伴う在籍者数増加により約 2 億円増加しました。附属病院の診療体制を充実させたこと、診療報酬改定がプラス改定であったこと等により医療収入は約 58 億円増加しました。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	H22 年度決算	H21 年度決算	差 異
人 件 費	48,192	46,640	1,552
(退職給与引当金繰入額)	(2,293)	(2,002)	291
教育研究経費	23,116	22,208	908
(減価償却額)	(6,349)	(6,154)	195
医療経費	40,240	38,967	1,273
管理経費	4,076	4,114	△ 38
(減価償却額)	(219)	(209)	10
借入金等利息	29	56	△ 27
資産処分差額	30	51	△ 21
徴収不能額等	128	101	27
消費支出の部	115,811	112,137	3,674

消費支出は約 1,158 億円となり、前年度と比較し約 37 億円増加しました。これは教育・研究・診療体制の更なる充実を図ったため、人件費、医療経費等が増加したことなどによるものです。

帰属収支差額	15,390	14,691	699
当年度消費収入超過額	10,200	7,541	2,659
前年度繰越消費支出超過額	73,587	81,128	
翌年度繰越消費支出超過額	63,387	73,587	

(3) 貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目	H22 年度末	H21 年度末	増 減
固 定 資 産	120,812	121,654	△ 842
有 形 固 定 資 産	105,387	107,014	△ 1,627
土 地	34,662	33,653	1,009
建 物	49,782	51,717	△ 1,935
その他の有形固定資産	20,943	21,644	△ 701
その他の固定資産	15,425	14,640	785
流 動 資 産	63,996	47,723	16,273
現 金 預 金	39,452	25,518	13,934
その他の流動資産	24,544	22,205	2,339
資 産 の 部 合 計	184,808	169,378	15,430

固定資産については、本郷地区及び浦安病院で病院附属施設を取得しましたが、既存施設・設備の減価償却により減少しました。

流動資産については、再編事業関連の大規模投資は今年度発生しなかったため、現預金の増加等により約 163 億円増加しました。

これにより総資産は 154 億円増加して、1,848 億円となりました。

(負債の部)

(単位：百万円)

科 目	H22 年度末	H21 年度末	増 減
固 定 負 債	26,683	24,410	2,273
長 期 借 入 金	1,143	1,413	△ 270
学 校 債	5,055	3,115	1,940
その他の固定負債	20,485	19,882	603
流 動 負 債	11,778	14,011	△2,233
短 期 借 入 金	271	271	0
短期学校債	520	2,365	△ 1,845
その他の流動負債	10,987	11,375	△388
負 債 の 部 合 計	38,462	38,421	41

負債については、学校債の償還等により流動負債が減少しておりますが、学校債の継続申込等により、同規模に固定負債が増加したことにより昨年より 0.4 億円の増加となりました。

(基本金の部)

(単位：百万円)

科 目	H22 年度末	H21 年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	198,771	194,063	4,708
第 2 号 基 本 金	1,850	1,650	200
第 3 号 基 本 金	500	500	0
第 4 号 基 本 金	8,613	8,331	282
基 本 金 の 部 合 計	209,734	204,544	5,190

(消費収支差額の部)

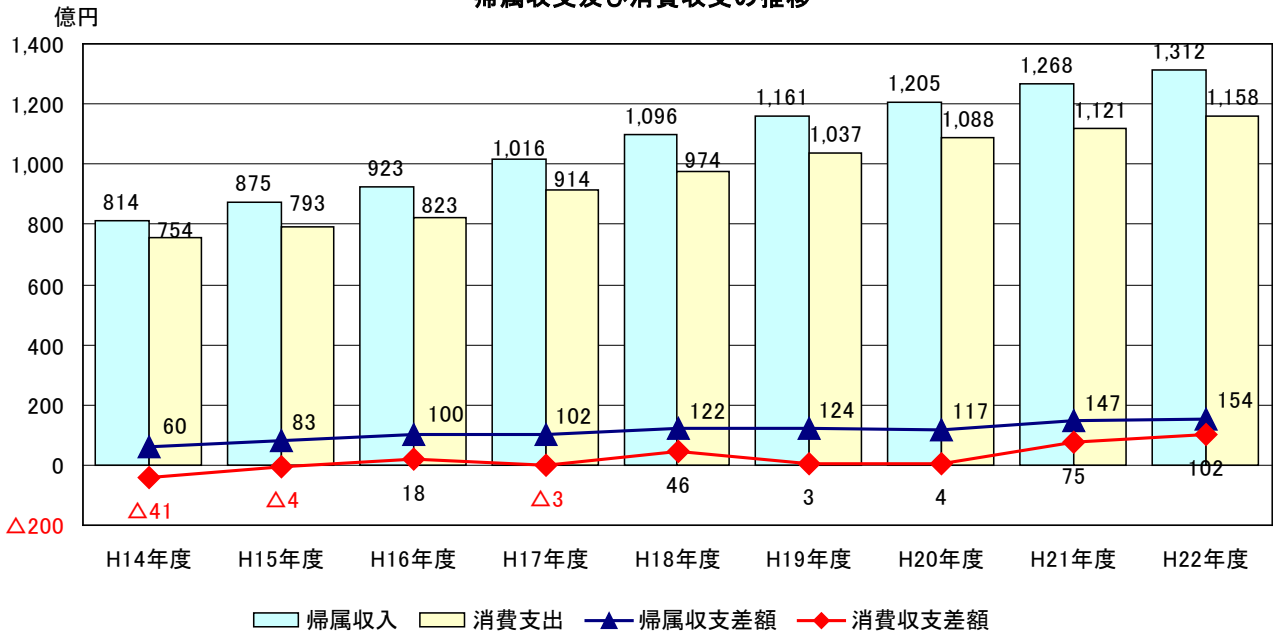
(単位：百万円)

科 目	H22 年度末	H21 年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	63,388	73,587	△ 10,200
消費収支差額の部合計	△ 63,388	△ 73,587	10,200
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	184,808	169,378	15,430

消費収入超過額は約 102 億円であったため、翌年度繰越消費支出超過額は約 634 億円となりました。

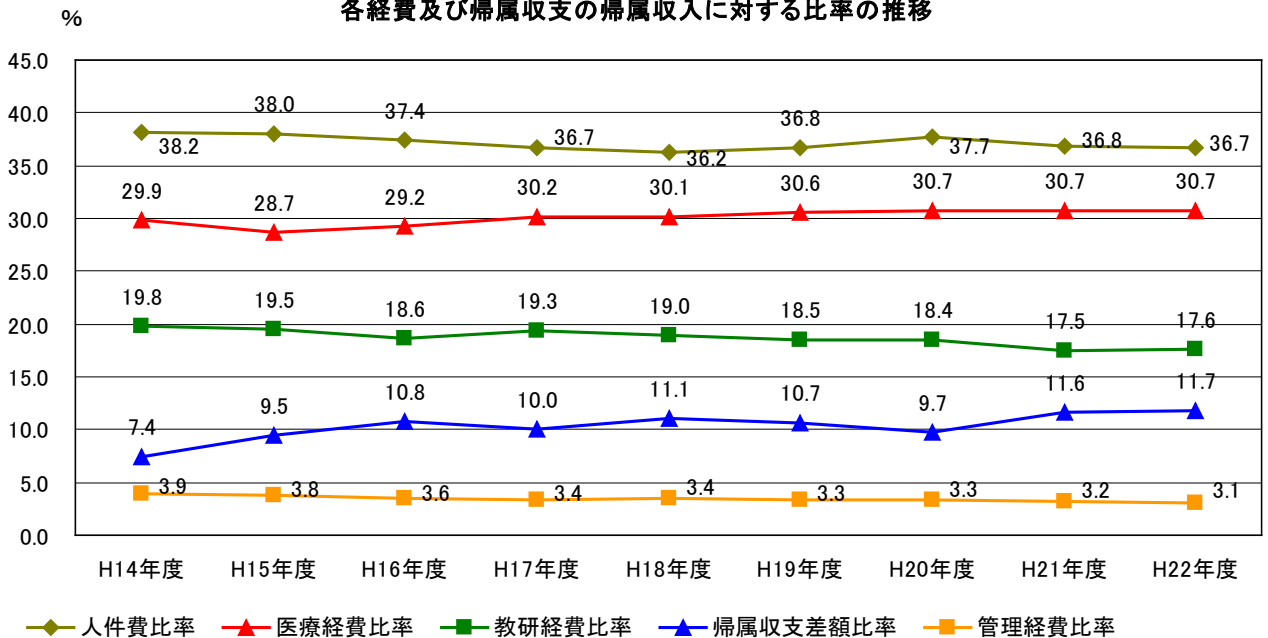
20. 財務状況の推移

帰属収支及び消費収支の推移

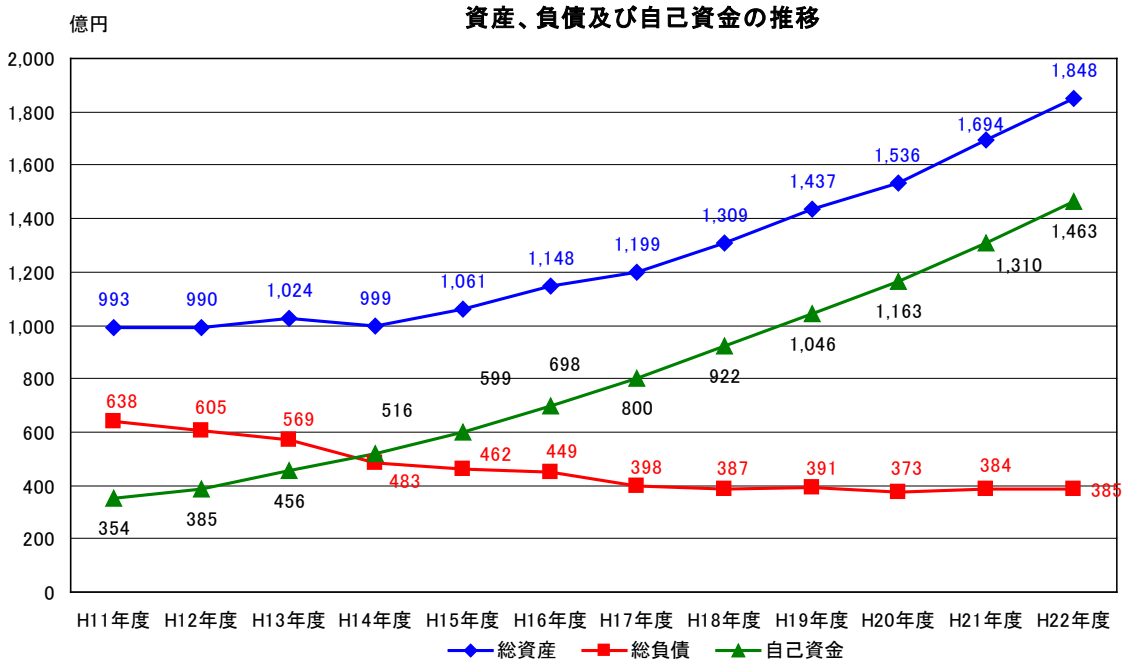


教育・研究・診療の充実を図るため、平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター自主運営、平成17年度 練馬病院開院（平成18年度練馬病院フル稼働）、平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、平成19年度スポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置及び練馬病院3号館建設、平成22年度静岡県三島市に保健看護学部を開設いたしました。これにより収入・支出の規模が毎年拡大しておりますが、帰属収支差額は外部資金の導入及び各種プロジェクトの推進等の効果により収支バランスを崩すことなく推移しております。

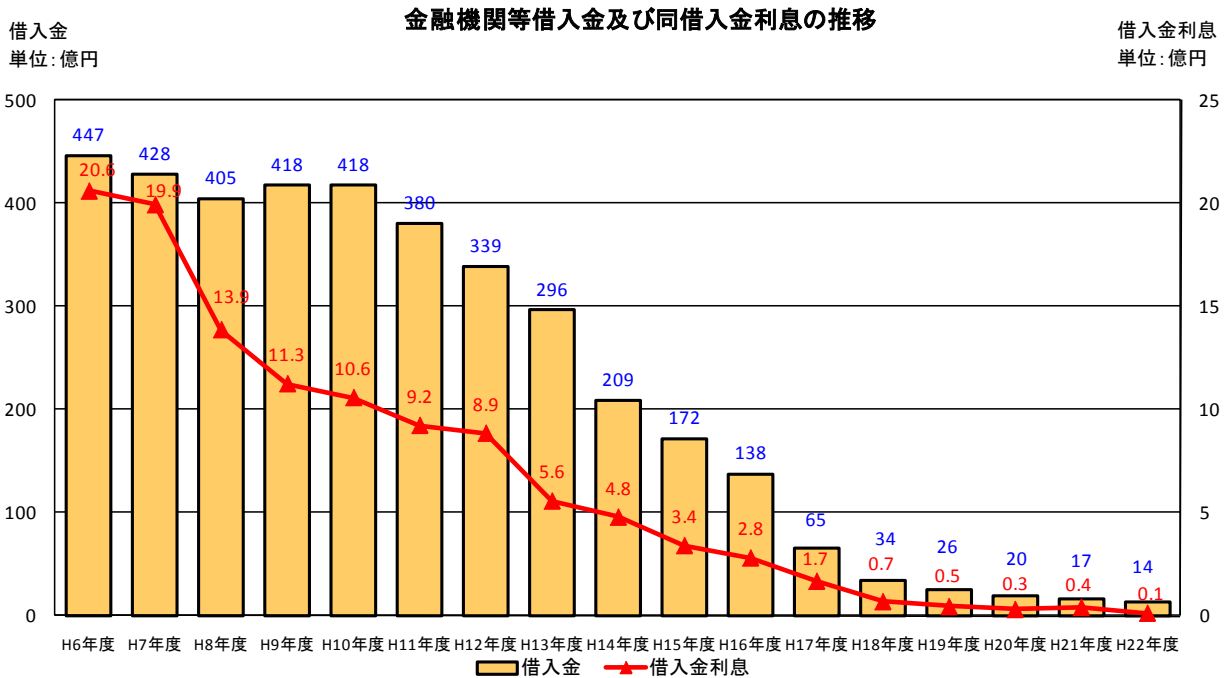
各経費及び帰属収支の帰属収入に対する比率の推移



教育・研究・診療の充実に伴い人件費をはじめ各経費は毎年増加していますが、経費の効率化、外部資金の導入などの効果により、22年度は各経費比率（経費の効率化の尺度を表し、各経費/帰属収入により算出する）とも前年並みを維持しています。今後とも各経費比率が安定して推移するよう全学的に取り組んでいきます。



上記のグラフは資産、負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで負債が自己資金を上回っていました。近年は堅調な帰属収支差額を維持し、施設・設備の拡充は自己資金により行ってきました。また、有利子負債の返済を前倒しで行ってきたため、総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成20年度には24.3%、そして平成22年度は20.8%と、大幅に改善しています。



総負債比率改善のため有利子負債の返済を積極的に進めてきました。平成22年度末の金融機関等からの借入残高は約14億円、学校債を合わせた借入総額は約70億円となりました。現預金残高は借入金総額を上回り、実質無借金経営を維持しております。

21. 今後の事業について

平成 25 年度（2013 年）に迎える創立 175 周年を記念して、全学的な「順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業」を計画しております。特に本郷キャンパス再編事業にあたっては、2 号館・5 号館跡地に地下 4 階・地上 21 階の新たな病院の建設（B 棟）を予定しており、完成後の全体像（完成予想図）は以下のようになります。

堅牢かつ免震設計で災害に強く、スタビリティの高い 100 年建築、環境医学を考慮した病院建築、心の安らぎと癒しを与える空間となる病院建築などを取り入れた「エコキャンパス・エコホスピタル」の実現を目指しています。



B 棟竣工後、本郷キャンパス全景（完成予想図）



Juntendo , Tokyo , established in 1838 .